

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び  
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成  
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築  
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成  
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【 広島皆実高校 】

1 実践テーマ	【 I, V 】
2 実施対象者	体育科（1～3年）117名 男女サッカー部 80名
3 展開の形式	（ ）教科で実施 教科名（ ） （ ○ ）教科以外で実施（ 特別時間割 ）
4 目標（ねらい）	トップアスリートの講演を聞き、実技指導を受けることにより、スポーツやオリンピック・パラリンピックへの意識の向上や、体育科、学校全体の部活動の更なるレベルアップを図る。
5 取組内容	1限目に講演、2限目に実技をグラウンドで行った。
6 主な成果	トップアスリートの講演を聞くことにより、体育科や各運動部（今年度はサッカー部）の意識が向上した。オリンピックやパラリンピックへの興味関心が高まった。
7 実践において工夫した点（事業の特色）	体育科のみならず、サッカー部の生徒にも特別時間割を組み、学ぶ機会を提供した。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に講演内容を把握し、事前学習・事後学習につなげていければよい。また、ICTを使い、視覚的なアプローチもしていければよい。</li> <li>・事前学習を行う時間が確保できなかった。</li> <li>・事後学習として、体育理論の授業をこの時期に合わせて行うなどの工夫が必要であった。</li> </ul>
9 来年度以降の実践予定	体育科のみならず、学校全体でオリンピア・パラリンピアと交流し、進路の選択や今後の学校生活に生かしていけるような内容・取組にしていきたい。